

令和7年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート（標準例）

1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒市体育施設（山麓公園テニスコート、井出山スポーツパークを除く）				
所在地	生駒市門前町9番20号				
指定管理者名	一般財団法人生駒市スポーツ協会	指定期間	開始日	令和 7 年 4 月 1 日	
利用料金制適用区分	利用料金制		終了日	令和 12 年 3 月 31 日	
選定方法	公募	評価実施年	指定期間 5 年のうち 1 年目		
設置目的	市民のスポーツ及びレクリエーション、生涯スポーツの振興など				
主な実施事業等	体育施設の使用許可、使用の制限、使用料の窓口徴収、体育施設の維持管理、学校施設開放の使用料の窓口徴収、部活動の民間移行の委託業務				

2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
グラウンド	人	382,000	166,721	86.6	屋外競技の夏季猛暑日の利用の減少
体育館・武道館・相撲場	人	350,000	283,688	102.5	
テニスコート	人	108,000	93,581	94.7	
プール	人	20,000	12,993	100	
野球場	人	54,000	52,461	123.1	北大和・高山S.C.の野球場の利用の増加

3 事業収支

		事業計画	事業報告（実績）	（参考）前年度実績
収入計	A	274,930,000	265,864,976	259,536,172
	指定管理料	222,900,000	211,224,254	198,718,692
	利用料金収入	51,690,000	52,427,794	52,080,017
	自主事業収入	340,000		
	その他		2,212,928	8,737,463
支出計	B	257,065,000	242,864,976	225,618,921
	指定事業費	257,065,000	242,864,976	225,618,921
	うち人件費	85,000,000	79,090,449	76,752,200
	うち再委託料	70,290,000	72,504,792	65,965,633
	自主事業費			
事業収支	A－B	17,865,000	23,000,000	33,917,251
利用料金比率	C/A	18.8%	19.7%	20.1%
人件費比率	D/B	33.1%	32.6%	34.0%
再委託費比率	E/B	27.3%	29.9%	29.2%
補足説明（必要に応じて記入）				

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無		有	実施方法	（利用者アンケート・意見箱の設置・その他（ ））
実施結果	意見内容等		対応実績等	
	利用者に接遇、利用環境、管理運営についてアンケートを行ったところ、4段階評価中90％以上で普通または満足の評価を受けた。		備品の再確認や整備を行い、次年度の備品要求に反映させる予定。また、軽易に対応できるものについては速やかに改善を行った。	

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
	施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）
	指定管理者による自己評価
	利用者のニーズをとらえ、安全かつ衛生的な環境で利用できるよう、満足度の高い管理運営を行っている。
	市の評価
	応募時の事業計画や基本協定書、運用業務仕様書、維持管理業仕様書及び管理運営業務仕様書に則り、地元スポーツ協会ならではの利用者目線に立った適切な管理運営がなされている。また、利用者へのアンケート結果をもとに施設運営の改善を図っていただいている。
	市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）
	指定管理者による自己評価
	それぞれの利用者にあった、公正な管理運営を行っている。
	市の評価
	市の受付事務の手引き等を遵守し、公平で適正な施設使用許可がなされている。また、市内他の体育施設指定管理者と連携・協力し、市民が利用しやすいよう、創意工夫がなされている。その他、施設の有効活用の観点から、施設利用の少ない時間帯については、目的外での使用等、積極的に市の方針に協力をされている。
	利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）
	指定管理者による自己評価
	利用者の満足度は高いものの、備品の経年劣化や施設の老朽化に対しては可能な範囲で修繕入れ替えを行っている。
	市の評価
	市のスポーツ振興の最も中心的な存在である（一財）生駒市スポーツ協会が指定管理者であるため、利用者の声を施設の管理運営に取り入れられている。それに加えて、協会加盟30競技団体からの要望に対し、施設の管理運営面において早急に対応されているため、市への苦情や要望等も少なく、利用者の満足度は高いものである。
経費の縮減等の効果（効率性）	
	経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）
	指定管理者による自己評価
	各施設のLED化やトイレなどの人感スイッチへの移行を行い電気料金の削減を目指している。
	市の評価
	軽微な施設の修繕や備品の修理等は、管理者自らが行うなど経費の削減に努められている。また、外部委託が必要となる業務については、業務内容を精査し委託業者と調整の上、経費節減を心がけるとともに、貸室使用に影響のない範囲で、環境への配慮を含め節減に努めておられる。使用者にもポスター等でこまめな消灯や節水を働きかけていただいた。各施設トイレ電気の人感センサー導入についても光熱費の大幅な節減に繋がり、高い評価をしている。
	収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）
	指定管理者による自己評価
	顧客満足度の高い運営を行い、施設の有効活用を進め利用料金増をはかる。また、総合型地域スポーツクラブの収益増、自販機をはじめとした自主事業の収入増を目指す。
	市の評価
	利用者サービスとしての物品販売、自動販売機の設置など収入増加対策を講じられている。また、各管理施設独自の事業開催など、それぞれの地域の方々にも利用してもらえるような事業の展開もされており、その他、現在の利用状況を見ながら、比較的空きが多い施設や時間などで、目的外使用や営利使用などでの施設活用を進め、利用料金の増加に努めていただいた。
適正な施設の管理運営（適正性）	
	施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）
	指定管理者による自己評価
	市内在住者で各施設必要な人材を適材適所に配置している。環境マネジメントに沿った運用を行っている。協会加盟競技団体や総合型地域スポーツクラブなど、市スポーツ協会の能力を活かした地域連携を行っている。
	市の評価
	地元スポーツ協会が指定管理者であるため、市民を積極的に雇用されている。また、本市環境マネジメントシステムとは別に独自の環境マネジメントシステムも策定されているため、環境行動の取組については非常に高い評価ができる。なお、地元スポーツ協会でしか成しえない地域との連携で、各種事業を開催されている。
	自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）
	指定管理者による自己評価
	総合型地域スポーツクラブで、各種教室を幼児から高齢者、障がい者までが参加できるプログラムを実施している。また、バンビシャス奈良、バルサアカデミー奈良、などとの地域連携事業も積極的に行っている。
	市の評価
	自主事業の大きな柱である総合型地域スポーツクラブ「いこ増ッスルクラブ」の運営の中で、施設利用が少ない時間帯や曜日をクラブの教室等で有効に活用されている。なお、いこ増ッスルクラブの様々な事業展開の結果、子どもから高齢者、障がい者までのそれぞれのニーズに合ったスポーツがより一層推進されている。

	安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）	
	指定管理者による自己評価	
	防火管理責任者講習を受けさせ、危機管理マニュアルに沿って緊急時の連絡体制や役割分担を明確にし、有事の際には早急な対応可能体制を整えている。また、個人情報を取扱う窓口業務や、会員管理には特に注意を払っている。	
	市の評価	
	スポーツ活動には事故が起こる可能性が高いことや各施設が避難所になっていることから、防災防火対応の専門知識を有する人材の雇用については評価できる。また、普通救命講習会の開催、各施設で避難訓練を実施するなど、利用者の安全確保を第一に考えた取組をされたことは高く評価できる。	
サービスの安定的な提供（安定性）		
	事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）	
	指定管理者による自己評価	
	今後も利用料収入のアップを安定させ管理運営を行う。部活動地域移行の委託や学校施設開放事業の受付窓口など安定した委託業務も行い収支計上を行いたい。	
	市の評価	
	利用料金制を導入しており、年度によって施設の利用料収入に若干の違いが生じることが予想されるが、施設の有効活用や自主事業などで収入を増加させる努力をなされている。また、学校部活動の地域移行についても協力いただき、受入団体として活躍いただいている。令和8年度からは学校施設開放事業の受付窓口をしていただき、安定した委託業務を期待している。	

6 指定管理者の財務の状況

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
資産	122,278,855	130,996,608	137,363,622
流動資産	122,278,855	130,996,608	137,636,622
固定資産	0	0	0
負債	3,500,600	2,863,430	3,109,900
流動負債	3,500,600	2,863,430	3,109,900
固定負債			0
純資産	3,000,000	3,000,000	3,000,000
資本金	3,000,000	3,000,000	3,000,000
売上高	39,942,384	37,511,901	26,480,604
経常利益	21,720,850	9,354,923	9,873,656

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
自己資本比率 純資産/資産×100	2.5%	2.3%	2.2%
負債比率 (流動負債+固定負債)/純資産×100	116.7%	95.4%	103.7%
固定比率 固定資産/純資産×100	0.0%	0.0%	0.0%
流動比率 流動資産/流動負債×100	3493.1%	4574.8%	4425.8%
固定長期適合率 固定資産/(純資産+固定負債)×100	0.0%	0.0%	0.0%
総資産回転率 売上高/資産×100	32.7%	28.6%	19.3%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	17.8%	7.1%	7.2%

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価
職員のスキルアップをはかり、どの施設でも均一かつ良質なサービスと満足度の向上をめざす。財務状況については、空きスパンの利用率を上げるよう努力し、利用料収入をアップさせ健全な経営につなげる。施設の老朽化に伴う修繕を的確にコントロールし、長期経営を見据えて投資も考慮に入れ行っていく。
市の評価
市内最大のスポーツ団体である（一財）生駒市スポーツ協会が指定管理者であることが、市内のスポーツ愛好家にとって、より良いスポーツ環境を作り出すことに繋がっていると考えている。なお、指定管理者として、4期目を迎えており、しっかりと利用者ニーズを把握されていることから、利用者目線に立った管理運営となり、多くの施設利用者に喜ばれている。また自主事業の中心的事業である総合型地域スポーツクラブ「いこ増ッスルクラブ」については、事業内容も年々充実してきており、市や関係団体と連携・協力し、時代やニーズに合わせた事業を行っていただいている。